

・三位一体後第二十三主日 泉のほとり

今月の詩編 第八編

そのあなたが御心に留めてくださるとは

人間は何ものなのでしょう。

人の子は何ものなのでしょう

あなたが顧みてくださるとは、



思い悩むな

イエスさまはパレスチナの美しい大自然を良くご存知でした。ガリラヤ湖畔の草花は、存先には見抜かず限り美しい草花で彩られた花のじゅうたんが敷られます。空には小鳥たちが飛び交い、春の大自然の美しさはそこを尋ねる人々に大きな感動を与えます。その光景は昔も今も変わりないものです。私は二度イースターの時期にイスラエルを尋ねたことがあります。有名な山上の説教のなされた場所はヨルダン渓谷を美しい花のじゅうたんが覆っていました。小鳥たちも楽しそうに、また嬉しそうに互いに鳴きかわします。小鳥たちにとつては沢山の食べ物が準備されているのです。

イエスさまはそれを見て弟子たちに教えられました。あなたがたは「命のことで何を食べようか、体のことで何を着ようか」と思い悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切だ。鳥のことを考えてみなさい。種も時かず、刈り入れもせず、納屋も倉も持たない。だが、神は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりもどれほど価値があることか。また「野原の花がどのように行つかを考えてみなさい。削きもせず動きもしない。しかし、言っておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花のつぼにも着飾ってはいなかった。今日は野にあって、明日は炉に投げ込まれる草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことである。」

イエスさまは人間にとって何が一番大切なものであるかを教えました。食べ物よりも切なるものよりも、もっと大切なものは神さまが与えてくださった命である。この命を神さまのために使うことが、一番大切であると教えられます。

今から五百三十年前、一人の侍が家来の者百八十人と共にローマに旅立ちました。一六一三年、〇月二八日の事です。その人の名は文會會長と云う武將でした。彼は仙台藩伊達政宗の命を受けて当時日本にいた宣教

師ルイス・ソテロの案内により、船で太平洋を渡り、メキシコを横断し、大西洋からスペインを経由してローマに向かいました。記録によるとスペインのセビリヤまで約一年かかり、多くの家来はその町に留まり、選ばれた少数のものだけがローマに行って教皇パウルス六世にお会いしたと言われています。私はその人たちの足跡をたどるために先日スペインまで出てきました。飛行機でも成山から約十二時間かかります。丁度會長が訪問した時はルネッサンス文化が華やかな時で、立派な大理石の礼拝堂が建設された町のにぎわいも驚く者ばかりでした。特にセビリヤの大聖堂は今でも世界第三番目に大きいものです。彼ら一行はその美しさと立派さに驚きつつ、教会の教えに従って洗礼を受け、クリスチャンとなりました。帰国時には十一名の者がスペインに留まり、その子孫はハボン名を名乗り、セビリヤ近郊の「コリア・デル・リオ」という町に住んでいます。そして今では大きな川沿いの町に文會會長の銅像が建てられています。私はそこを尋ねた時、大きな感動を受けました。

彼らが日本に帰った時、世はキリシタン弾圧の時代で、素晴らしい旅の体験も語る事が出来ませんでした。案内役のソテロ宣教師も見せしめのために火あぶりの刑に処せられ、殉教の死を遂げられました。ソテロ宣教師はセビリヤの貴族の出身であったそうです。

これらの人々は神の国の繁栄を見、また神の国のために殉教の死を選んだのです。私たちは神さまにすべてをゆだねて最も良い人生を生きる事が求められます。日々経験する悩みや思い煩いは神さまを見上げる時、すべて喜びに変えられます。イエスさまの教えは強く生きようとするクリスチャンの大きな支えになります。神の国を求めて生きる時、不思議な喜びと平和が与えられるのです。主イエスの教えを心から受け入れ、たとい悩みや苦しみがあっても、神と人とに仕える勝利の道を歩みたいと思います。

感じさせてください

ああ、キリスト・イエスよ、
すべてが闇に閉ざされるとき

そして、自分が弱く、

寄る辺なく思えるとき

どうか、感じさせてください、

あなたのご臨在を、

あなたの愛を、あなたの強さを、

どうか、あなたの愛のお守りを、

あなたがくださる力を、

完全に信頼することができるよう、

助けてください。

そうすれば、いかなるものであっても、

わたしたちに恐れや思い煩いを

もたらすことはできません。

なぜなら、

あなたのおそば近くで

生きることによって

わたしたちは、

あらゆるものをおして、

あなたのみ手、

あなたのご意志、

あなたのみ心を、

知ることができるのですから。

平野克己著 「祈りのともしび」より

イグナチウス・デ・ロヨラの祈り

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーマービスと、園舎二階リズム室では、礼拝で受けた恵みを分かち合う「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで、讃美と報告の会をします。

お昼はお弁当です。

○午後一時半から、ハイデルベルク信仰問答を学ぶ会をします。今回は問六二、六四です。

○次週、一日の第一礼拝は成長感謝礼拝です。子どもたちの成長を感謝して礼拝をします。

○一〇日（土）正午から、湘南基督教墓苑にて、墓苑礼拝を行います。土井寿美子姉と金塚得兄の納骨をします。教会から一緒に行かれる方は、朝九時半の出席です。遅れないようにおいでください。

○説教塾でエフェソ書とフィリピ書の講解説教を一冊にまとめた説教集を作りました。加藤常昭先生を初め、八名の説教が取められていて、とてもよい内容の説教集です。古村牧師の説教も三篇入っています。定価二二七六円ですが、二千円で販売します。ディアコニアショップでお求めください。

第一礼拝 第一讃美歌

聖なる主の美しさと

Worship the Lord in the beauty of holiness
 詞：John S. B. Monsell, 1811-1875
 曲：William F. Sherwin, 1826-1888

聖書の会へどうぞ

11月7日(水)

● 朝の聖書の会 10時

「目を覚ましていなさい」

使徒20章25〜38節

黄允湜 副牧師

● 聖書の夕べ(19時)

「新しい命に生きる」

ルカ24章1〜12節

吉村和雄 牧師

次週礼拝

● 第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 讃2117番 461番

説教「悔い改めにふさわしい実を」

聖書 ルカ3章1〜14節

説教者 黄允湜 副牧師

● 第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 6番 249番

詩篇 8篇

説教「悔い改めに導くために」

聖書 ローマ2章1〜11節

説教者 吉村和雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 17番
461番

説教 「体の明かりは目」

聖書 ルカ11章33節～41節(新約P129)

司式 山下 純一 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 貴 允湊 副牧師

前奏曲「我が主の御業はことごと正し」J.S.バッハ

○讃美21-17番(3面に楽譜があります)

1. 聖なる主の美しさと その榮えを 仰いで
まごころもて み前に立ち
み名をたたえ あがめよう
2. 重荷すべて 主が代わって
負ってくださる うれしき
悩み多い 世の旅路も みちびく 主のみ恵み
3. 心つくし 主に仕えよう とるに足らぬ私の
愛のわざも 身も心も
主は受け入れ よろこぶ
4. 闇をかえて 光とする 主の恵みの 貴さ
望みは湧き おそれは消え
胸に滴る よろこび アーメン

○ピアノによる讃美

「グラドゥス・アド・バルナッサム博士」
C.ドビュッシー 子供の領分より

○讃美歌461番

1. 主われを愛す 主は強ければ
われ弱くとも 恐れはあらず
※わが主イエス わが主イエス
わが主イエス われをあひす
2. わが罪のため さかえをすてて
天よりくだり 十字架につけり
3. みくにの門を ひらきてわれを
招きたまえり いさみでのぼらん
4. わが君イエスよ われをきよめて
よきはたらきを なさしめたまえ アーメン

聖餐曲「ワルツ」O.マルカ

後奏曲「アレグロ」G.F.ヘゲル

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 28番 351番

詩篇 第8編(旧約P840)

説教 「あなたを救うために」

聖書 マルコ1章9節～11節(新約P61)

司式 山下 純一 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲「我が主の御業はことごと正し」J.S.バッハ

○讃美歌 28番

○ピアノによる讃美

「グラドゥス・アド・バルナッサム博士」
C.ドビュッシー 子供の領分より

○聖歌隊による讃美

「主は共にあり」C.S.ワグネル
ゆめを追い求め 歩みゆくわれら
たかきほまれ つよき力のぞみて傷つき
行く道 うしなう

世のほまれではなく 力ではなく
主は 愛と平和を与え われら導きたもう

み神は愛もて 常に共にあり
行く道 示して 力あたえたもう

わが主は愛もて 常に共にあり
行く道 われらと 常に共にあり

○讃美歌 351番

聖餐曲「フーガ」L.N.クラッパ

後奏曲「アレグロ」G.F.ヘゲル